



# 坐薬の入れ方、解熱剤の使い方

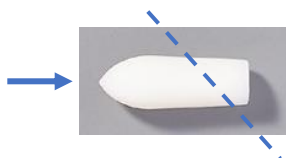


ぽよぽよ  
クリニック

## 坐薬の入れ方



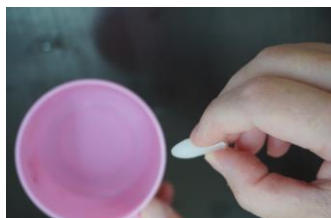
指示された大きさに  
坐薬を包装フィルム  
ごとハサミでカット  
します



とがった方 (矢印)  
を使います



フィルムをはがします



水をつけて  
すべりやすくします



とがった方を肛門に  
あて坐薬をいれます  
利き手で坐薬を持ち  
反対の手で足をもち  
ます



入れたら1~2分間  
ティッシュで押さ  
えます



30分ほどしたら  
体温を測り効きめ  
を確認めます

## 解熱剤の使い方

☆ 38.5℃以上の発熱&つらい時  
に使ってもよい

「&」と「使ってもよい」がポイントです。  
熱があってもケロッとしていたら使う必要は  
ないということです。

熱を下げる目的は、お子さんがつらそうなら  
少し楽にしてあげるということだけのことで  
す。あくまでも解熱剤は一時しのぎの  
ものです。

☆ 解熱剤の間隔は6時間以上あける  
一日3回まで可能

## Q&A

Q 坐薬が出てしまったら？

A 入れてすぐ、まだ坐薬が指で持てる場  
合は、そのまま入れなおします。  
5~10分以上たっていて一部とけてい  
る時はもう吸収された分がありますので  
追加して入れずに様子を見ましょう。

Q 坐薬の保管はどうしたらよいか？

A 保管は冷蔵庫でします。  
坐薬は熱に弱く体温以上になると溶け  
だしてしまいます。  
保管は冷蔵庫が原則です。  
冷凍庫では薬の成分が変質する恐れが  
あるので保存してはいけません。